

a004030	永田区 小山神社	概要 適用
 <p>a004030001)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="246 837 369 997">  <p>a004030002</p> </div> <div data-bbox="515 837 638 997">  <p>a004030003</p> </div> <div data-bbox="795 837 918 997">  <p>a004030004</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="246 1093 481 1252">  <p>a004030005</p> </div> <div data-bbox="515 1093 750 1252">  <p>a004030006</p> </div> <div data-bbox="795 1093 1030 1252">  <p>a004030007</p> </div> </div>		<p>概要 適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「縁結び」の神様。</li> <li>・ 祭祀は「玉依姫(タマヨリビメ)」「綿津見尊(ワタツミ)」</li> <li>・ ご神体は2つの陰石岩塊で、創立は江戸時代。同区の田之峰神社と姉妹関係にあたる。</li> <li>・ 岩塊の大きさは、左が8m×5m。右が7m×6m。その上に樹木が茂り、「カイヤモイ」という森がある。昔はそこでのろしをあげていた。</li> <li>・ 「小山」は「子山」が元々の名称。</li> <li>・ 祭りの時はつのまきを供える。また縁結びの神様として、若い男女がつのまきをお供えしていた。永田の人たちは太古の昔からこの岩塊をご神体として、聖なる石体に思いを込めて拝んできたと考えられる。</li> <li>・ 子宝の神様とも言われる。</li> <li>・ 鳥居の前にある仁王像は、明治期の廃仏毀釈の時、羽生一馬さんが永田岳神社(顕寿寺?)で使っていた仁王像を「もったいないから」という理由で小山神社に置いたもの。</li> <li>・ 岩の前には行かず、下から岩の割れ目を見てお参りする。(羽生さん談)</li> <li>・ 屋久島の神社では珍しく木造建築。</li> </ul> <p>小山神社大祭(2015.9.13)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮司は益救神社の大牟田氏。</li> <li>・ 神事が終わってからも、集落の人がたくさんお参りに来ていた。</li> </ul> <p>2015年9月13日 吉村保子さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 永田地区では落ち着いた神事。お祭り騒ぎはせず、神主さんが厳かに神事をとりおこなって終わる。</li> <li>・ ご神体の大岩が「陰石」。</li> <li>・ 縁結びの神様。</li> </ul>



a004030008



a004030009



a004030010



a004030011



a004030012



a004030013



a004030014



a004030015



a004030016



a004030017



a004030018



a004030019

- ・ ご神体の大岩に触ると子宝のご利益がある。
- ・ 普段はご神体の大岩までは行かず、下からお参りするのが通例。
- ・ 永田では唯一の木造建築による神社。

鳥居の前にある仁王像は明治の廃仏毀釈の時に集落の人が他のお寺からもってきたもの。

Q: いろいろリフォーム？



a004030020



a004030021



a004030022



a004030023



a004030024